

# インテル® ユーティリティ インストールガイド

このガイドでは、インテル システム マネジメント ソフトウェア CD #1（英語版のみの CD 2 枚）または DVD（各国語版）に収録されているインテル® ユーティリティをインストールする手順を示します。この手順では次のユーティリティがインストールされます。

- インテル コマンド ライン インターフェイス (インテル CLI)
- インテル® SNMP サブエージェント
- インテル アドバンスド リモート サーバー コントロール (インテル ARSC)
- インテル ワン ブート フラッシュ アップデート (インテル OFU)

これらのユーティリティは、管理対象インテル サーバー、あるいは管理者サーバーにインストールします。下の表にユーティリティのインストール先を示します。

インテル® ユーティリティ	管理対象インテル サーバー	管理サーバーまたはクライアント システムにインストール
インテル ARSC		X
インテル® SNMP サブエージェント	X	*
インテル OFU	X	
インテル CLI		X

\*管理対象サーバー上のインストール ディレクトリからベースボード MIB ファイルを SNMP マネジメント アプリケーションを搭載したコンピュータにコピーします。

## サポートされているインテル® サーバー ボード

- インテル ARSC ビュアーは、インテル マネジメント モジュール - アドバンスド エディションがインストールされているすべてのインテル サーバー ボードを制御できます。このビューアーは、サポートされているオペレーティング システムのいずれかが搭載されているプラットフォームにインストールできます。
- インテル SNMP サブエージェントはすべて、ベースボード マネジメント コントローラー (BMC) または National Semiconductor\* PC87431x “mini” BMC 搭載のインテル サーバー マネジメント ソフトウェアでサポートされている管理対象サーバーにインストールできます。
- インテル CLI ユーティリティは、サポートされているオペレーティング システムを実行しているシステムにインストールできるプロキ

シー サーバーを使用します。インテル CLI は、ベースボード マネジメント コントローラーまたは National Semiconductor\* mini-BMC 搭載のインテル サーバー ボードを管理するために使用できます。

- インテル OFU ユーティリティは、BMC または National Semiconductor\* PC87431x “mini” BMC 搭載のインテル サーバー マネジメント ソフトウェアでサポートされている管理対象サーバーにインストールできます (インテル ブレード サーバーを除く)。(mini-BMC を搭載したシステムでは、インテル OFU は BIOS を更新するためにしか使用できません。)

## サポートされているオペレーティング システム

サポートされているサービス パックやインテル ユーティリティのアップデートについての最新情報は、『Intel Management Pack for Windows リリースノート』を参照してください。

## 管理対象サーバー

管理対象サーバーには、インテル OFU とインテル SNMP サブエージェントをインストールする必要があります。インテル ARSC とインテル CLI は、管理対象サーバー、別のサーバー、およびノート パソコンなどのクライアント システムにインストールできます。

お使いのプラットフォームでは、そのプラットフォームの「テスト済みハードウェアとオペレーティング システムのリスト」に特記されていない限り、以下のオペレーティング システム (IA-32 およびインテル 64 アーキテクチャ バージョン) がサポートされています。

- Microsoft\* Windows\* Server 2003 (IA-32 アーキテクチャ バージョン) と Windows Server 2003 Enterprise Edition (IA-32 と Intel 64 アーキテクチャ バージョン)
- Microsoft Windows Server 2003 リリース 2
- Microsoft Windows 2000 Server と Windows 2000 Advanced Server
- Microsoft Windows Vista Enterprise Edition
- Red Hat Enterprise Linux 4 アドバンスド サーバーとエンタープライズ サーバー
- Red Hat Enterprise Linux 5 アドバンスド サーバーとエンタープライズ サーバー
- SuSE\* Linux Enterprise Server 9
- SuSE Linux Enterprise Server 10
- お使いのソフトウェア プラットフォームでサポートされている場合、Windows XP Professional (インテル ARSC ビュアーのみ)

注:インテル サーバー システムによっては、上記のオペレーティング システムの一部サポートされていない場合があります。お使いのインテル サーバー ボードでテスト済みのオペレーティング シ

システムバージョンとサポートされているソフトウェアコンポーネントは、「テスト済みハードウェアとオペレーティングシステムのリスト」または「テスト済みソフトウェアとオペレーティングシステムのリスト」を参照してください。サーバーボード用に英語および他国語で利用できるリストについてはインテルのサポート Web サイト ([support.intel.com](http://support.intel.com)) を参照してください。

## その他のクライアント システム

クライアント システム上で、インテル ARSC ビュアーをインストールして実行したり、別のシステム上のインテル CLI プロキシ サーバーとのテルネット セッションを開いたりできます。クライアント システムでは、以下のオペレーティング システム (IA-32 およびインテル 64 アーキテクチャ バージョン) がサポートされています。

- Microsoft\* Windows\* Server 2003
- Microsoft\* Windows\* Server 2003 リリース 2
- Microsoft Windows Server 2000
- Microsoft Windows Vista Business Edition
- Red Hat Enterprise Linux 4
- Red Hat Enterprise Linux 5
- SuSE Linux Enterprise Server 9
- SuSE Linux Enterprise Server 10
- Windows XP Professional (インテル ARSC ビュアーのみ)

注: クライアント システムによっては、上記のオペレーティング システムの一部がサポートされていない場合があります。サポートされているオペレーティング システムのリストはハードウェアのマニュアルを参照してください。

## ユーティリティーのインストール

### Microsoft Windows

1. インテル コンポーネントをインストールする前に、以下のコンポーネントがインストールされていることを確認してください。
  - a. インテル ARSC では Sun\* Java Runtime Environment ( JRE) 1.4.2 またはそれ以降がインストールされていること
  - b. インテル SNMP サブエージェントでは SNMP コンポーネント (マスターエージェント) があること
2. インテル ユーティリティーが入っているシステム マネジメント ソフトウェア CD #1 または DVD を挿入します。

3. [インテル® ユーティリティ] の下で、インテル ユーティリティ インストーラーを開くリンクをクリックします。
4. [次へ] をクリックして [種類の選択] 画面に進み、[完了] をクリックしてインテル ユーティリティをすべてインストールするか、[カスタム] をクリックしてインストールするユーティリティを選択します。
5. [次へ]、[終了] の順に選択して、インストールを完了します。
6. インテル SNMP サブエージェントでは、次を行います。
  - a. 『インテル SNMP サブエージェント ユーザー ガイド』に従って config ファイルを編集します。
  - b. SNMP サブエージェントがインストールされている場所から SNMP マネジメント アプリケーションが搭載されているシステムに SNMP MIB ファイルをコピーします。

## Linux の場合

1. インストール スクリプトを実行する前に、以下のコンポーネントがインストールされていることを確認してください。
  - a. インテル ARSC では Sun Java Runtime Environment JRE 1.4.2 またはそれ以降がインストールされていること
  - b. インテル OFU では w3c-libwww とカーネル ソース パッケージが搭載されていること
  - c. インテル SNMP サブエージェントでは SNMP マスターエージェントがあること
2. コマンド シェル ウィンドウを開きます。
3. 次の表に掲載されているインストール スクリプトで、インストールする Linux のバージョンおよびソフトウェア コンポーネントに対応するものを実行します。

### 注:

インテル SNMP サブエージェント インストール スクリプトはデフォルトの *net-SNMP RPM* をアンインストールし、インテル サーバー マネジメント ソフトウェア *net-SNMP 5.4.1 RPM* をインストール CD または DVD からインストールします。インテル SNMP サブエージェント インストール スクリプトを使ってこのコンポーネントをインストールすると、必要なソフトリンクがすべて作成されるので、インテルではこのインストール方法を推奨しています。

ユーティリティ	オペレーティング システム	インストール スクリプト
インテル CLI	SuSE Linux	<CD #1 または DVD>/software/Utilities/linux/DPC-CLI/linux/suse/CLI_Suse_Install.sh
インテル CLI	Red Hat Linux	<CD #1 または DVD>/software/Utilities/linux/DPC-CLI/linux/CLI_RHLinux_Install.sh
インテル ARSC	SuSE または Red Hat Linux	<CD #1 または DVD>/software/Utilities/linux/IntelARSC/InstallARSC.sh
インテル® SNMP サブエージェント	SuSE または Red Hat Linux	<CD #1 または DVD>/software/Utilities/linux/SNMP_SA/Baseboard_Subagent/snmpsubagentinstall.sh
インテル OFU	SuSE または Red Hat Linux	<CD #1 または DVD>/software/Utilities/linux/OFU/setup_linux

4. インテル SNMP サブエージェントがインストールされた場合は、次を行います。
  - a. 『インテル SNMP サブエージェント ユーザー ガイド』に従って config ファイルを編集します。
  - b. SNMP サブエージェントがインストールされている場所から SNMP マネジメント アプリケーションが搭載されているシステムに SNMP MIB ファイルをコピーします。

## インストール ノート

- インテル ARSC は CD、DVD、または USB デバイスから実行できます。これは通常、管理コンソールからインストールされた後、管理対象インテル サーバー ボード上のインテル マネジメント モジュール-アドバンスド エディションに接続されます。
- インテル ARSCを使用するには、お使いのブラウザに Sun Java Runtime Environment 1.4.2 プラグインがインストールされていることが必要です。このプラグインとインストール手順は、[www.sun.com](http://www.sun.com) からダウンロードできます。Linux をお使いの場合は、プラグイン フォルダにリンクを作成してください (Sun JRE のインストール手順書を参照)。
- インテル ARSC を使用するには、ブラウザのセキュリティ設定で Java アプレットを有効にする必要があります。
- インテル 64 アーキテクチャのオペレーティング システムでは、32 ビット ブラウザを使ってインテル ARSC を実行します。ブラウザのプラグイン用のフォルダが Java runtime (JRE のインストールについてはサンマイクロシステムズのマニュアルを参照) にリンクされていることを確認します。
- インテル SNMP サブエージェントでは、マスター エージェントがインストールされて実行されていることが必要です。Linux では snmpd.conf ファイル

を編集することも必要です。詳細は、『インテル SNMP サブエージェント ユーザー ガイド』を参照してください。

- インテル CLI プロキシ サーバーは、通常、1 つの管理コンソール (管理対象サーバーではなく) にインストールし、ローカル コンソールから、またはテルネットを使用してリモートにアクセスします。詳細は、『インテル CLI ユーザー ガイド』を参照してください。
- インテル デプロイメント アシスタントまたはシステム コンフィギュレーション ユーティリティ (syscfg) を使って、BMC ユーザーの有効化、BMC ユーザー パスワードの設定、KVM の有効化、BMC アクセス用 IP アドレスの設定を行います。インテル サポート Web サイト ([support.intel.com](http://support.intel.com)) からツールをダウンロードします。
- テルネットを使用してインテル CLI を実行する場合は、Microsoft パッチをインストールして Windows XP Professional と Windows Server 2003 のライン フィード問題を是正することが必要となる可能性があります。このホットフィックスについては、<http://support.microsoft.com/?kbid=824810> を参照してください (Windows XP SP2 から使用することもできます)。
- 一部のインテル サーバー プラットフォームでは、インテル ワン ブート フラッシュ アップデートがサポートされていない場合があります。サポートされているプラットフォームについては、「テスト済みソフトウェアとオペレーティング システムのリスト」を参照してください。

## インテル ユーティリティーのアンインストール

### Microsoft Windows

Microsoft Windows からインテル ユーティリティーをアンインストールするには、Windows コントロール パネルの [プログラムの追加と削除] を使用します。

### Linux

Linux からこのソフトウェアをアンインストールするには、次の表に掲載されているアンインストール スクリプトを実行します。

ユーティリティー	オペレーティング システム	アンインストール スクリプトまたは手順
インテル CLI	SuSE Linux	CLI_Suse_UnInstall.sh
インテル CLI	Red Hat Linux	CLI_RHLinux_UnInstall.sh
インテル ARSC	SuSE または Red Hat Linux	uninstallARSC.sh
インテル® SNMP サブエージェント	SuSE または Red Hat Linux	snmpsubagent_uninstall.sh
インテル OFU (flashupdt のみ)	SuSE または Red Hat Linux	/usr/local/flashupdt/uninstall.sh

### ソフトウェアの実行

- (Microsoft System Center Essentials 2007 と Intel Management Pack for Windows を使用しないで) インテル ARSC を直接実行するには、Windows の [スタート] メニューの [Intel Advanced Remote Server Control] リンク、あるいは Red Hat または SuSE Linux プログラム メニューでこれに相当する項目を選択します。
- インテル CLI を実行するには、Windows の [スタート] メニューの [Intel CLI] メニュー項目を選択するか、あるいはインテル CLI プロキシ サーバー上でない場合はポート 623 を使ってインテル CLI プロキシ サーバーにテルネットで接続します。BMC の IP アドレス、管理対象サーバーの BMC ユーザー名と BMC パスワードを入力するように求められます。
- インテル SNMP サブエージェントを使用するには、管理対象サーバー上の MIB フォルダにインストールされている MIB を使用して、SNMP 管理アプリケーション (このパッケージでは提供されていない) を実行します。オペレーティング システムから見え

る管理対象サーバー（たとえば、BMC からしか見えない LAN 3 は使用しない）上のネットワーク接続を使用して管理対象サーバーに接続します。

- インテル OFU を使用するには、OFU がインストールされている管理対象サーバーでコマンド ウィンドウまたはシェルから “flashupdt” を実行します。コマンドの構文は、インテル OFU のドキュメントを参照してください。

## ドキュメント

以下のドキュメントは、CD または DVD にて配布されています。

- *インテル ワン ブート フラッシュ アップデート ユーザー ガイド*
- *インテル® コマンドライン インターフェイス ユーザー ガイド*
- *インテル SNMP サブエージェント ユーザー ガイド*

上記のドキュメントを表示するには、Adobe\* Acrobat Reader バージョン 5 またはそれ以降が必要です ([www.Adobe.com](http://www.Adobe.com) Web サイトからダウンロード可)。

インテル アドバンスド リモート サーバー コントロールのオンライン ヘルプ をご利用いただけます (インテル ARSC ビュアー アプリケーション内から開く)。

次のドキュメントは、インテル サポート Web サイトからご利用いただけます。

- *テスト済みソフトウェアとオペレーティング システムのリスト (英語のみ)*

---

Copyright (C) 2007, Intel Corporation. All rights reserved.

Intel は、米国および他の国々における Intel Corporation の商標です。

\* その他の製品名またはブランドは各所有者に帰属します。